

先輩受講生のコメント

・行政職コース

文学部 内定:国土交通省

独学ではなく講座に通うことのメリットは、試験範囲が広い公務員試験において、どの科目をどこまでやるべきか(もしくはやらなくてよいのか)を、はっきりと示してくれる点だと思います。独学でやることを考え、テキストを探したこともあります。種類が多すぎて選べませんでした。時勢柄、オンライン授業と対面が半々くらいでしたが、空いている時間に進められるという点では、自分に合っていました。また、独学では対策が難しい記述などは個別にフォローしてもらえて助かりました。併願先に悩んでいた、民間企業と公務員で悩んだりしている人にとっては、両者の違いや個々人の適性について、客観的な意見をもらえる場でもあると思います。

文学部 内定:人事院

当初通いやささという点のみでこの講座を選びました。しかし、受講を経てそれ以上に多くの良さを感じることができました。授業や公務員試験の勉強のために大学に通う日が多かったので、事務局が学内にあることには助けられました。相談したいことがあるたびに事務局にお世話になり、就職活動における不安や疑問をその場ですぐに解決できました。また、講師の方々には公務員試験に長く携わっておられ、教科の内容のみならず、試験を受けるにあたり知っておいて損のないような情報を多々教えて頂けました。さらに、同じ大学の面々が受講していることもあり、価値観を共有できる仲間もたくさん出来ました。正直なところ、受講を始めたばかりの頃は明確な目標もなく、とりあえず就職できればいいなどといったいい加減な気持ちを持っていました。しかし、講座の仲間たちと共に過ごすうちに、自己を見つめ直し、目標を定めてそれに向かって精進することができました。こうして過ごした日々は、辛くもありましたが単なる就職活動というにとどまらず、人生の財産となったように感じます。

文学部 内定:衆議院事務局

私が学内講座を選択したのは、学内で開講しているため受講しやすいと思ったからです。法律や経済とは縁のない私は、授業内容についていけるか不安でした。しかし講師の先生のわかりやすい授業や、事務局スタッフの方々の手厚いサポートのおかげで、こうして無事に内定をいただくことができました。また、受講生どうしで交流ができる場所もよかったです。特に面接などの人物試験対策では事務局スタッフの方々や受講生どうしで模擬面接をするなど、他の予備校に劣らない非常に充実した試験対策ができたと感じています。後輩のみなさんもこれからぜひがんばってください！

文学部 内定:参議院事務局

大学の授業終わりに学内で公務員講座を受けられるということに魅力を感じ、受講することに決めました。択一試験だけでなく専門記述の対策もしっかりとできたため、試験合格につながったと思います。また、勉強を進めるうえで不安解消や、勉強するポイントの絞り込みなど、事務局でたくさんのアドバイスをいただきました。私は、勉強を始めるのが遅かったのですが、事務局の方のおかげで効率的に勉強を進めることができました。それだけでなく、面接の時期になると事務局の方が手厚い面接指導・エントリーシート指導を行ってくださいます。これがこの講座の最大の魅力だと思います。

文学部 内定:参議院事務局

学内開講という利便性と、筆記試験から面接までの幅広いサポートに魅力を感じ、受講を決めました。初めは学業と両立できるのか不安でしたが、講座日程が大学の試験や行事を踏まえて組まれていたので、講座にも無理なく通い続けることができました。また、講座を通じて説明会の情報を得られたり、講座主催のイベントにも参加できたりしたので、自分に合った職種や、やりたい仕事を早いうちから見つけられたように思います。いざ受験期に入ると事務局に足を運び、就職活動全般について様々なアドバイスを頂いていました。心に余裕を持って本番の試験に臨むことができたのも、事務局の方が親身になって相談に乗り、不安を解消してくださったお蔭です。合格を掴むことができた今、学内講座を選んで本当に良かったと強く思います。

文学部 内定:国立国会図書館

学内講座の利点として、受講しやすいという点が大きくあります。ひとまず行きさえすれば、周囲の受講生との情報交換ができます。知人が増えたり、わからないところを教えあったりすることもあります。身構えずに勉強ができるいい環境です。また、面接対策は非常に充実していました。事務局の方に相談に乗ってもらうこともあれば、受講生同士で面接練習をすることもありました。面接練習に参加するのは基本的に気が重いのですが、学内の知人がいるというだけでそのハードルも下がります。加えて、幅広い科目の講義を受けられるという利点があります。講義を受けてみてから、自分が勉強しやすい科目を重点的に勉強して試験で使うという方法がとれます。実際に、私も文学部では触れたこともない政治学で受験し、合格をいただきました。やってみるまで、何が合うかわからないものです。やっつけていきましょう。

文学部 内定:宮内庁

大学で受講できるため、学内講座を選択しました。法律や経済に触れたことが無く不安でしたが、多くのアドバイスによって、試験に対応できる力をつけることができました。欠席しても、動画配信でフォローできる点は、サークルとの両立もできて助かりました。また、面接対策や悩みの相談ができる機会が充実していることも、魅力の一つだと思います。事務局の方は根気強く面接の指導をしてくださり、不安な時には相談に乗っていただきとても有り難かったです。面接練習等を通して新たに友人もでき、皆で励ましあいながら試験を乗り切ることができました。

文学部 内定:近畿管区警察局

私は、大学内で受講できるということから、この学内公務員講座を選びました。講義をインターネットで視聴できるだけでなく、面接カードの添削や、面接の練習を何度も行って頂くことができ、非常に参考になりました。試験勉強だけでなく、それ以外の点でのフォローが手厚いところがこの講座の強みだと思います。実際に、この講座の卒業生からのアドバイスや、卒業生のデータ、阪大生同士の情報の共有などを行うことができます。その中でも、事務局の方や他の受講生と相談しあえることが、この講座の最も良い点だと思います。私自身、試験期間中辛かった時、事務局の方や他の受講生と話すことで不安を打ち消して元気をもらい、なんとか長い試験を乗り切ることができました。自分の精神面の管理も試験には必要になるので、この学内公務員講座をお勧めします。

文学部 内定:愛知労働局

学内で授業を受けることができる点に魅力を感じ、学内講座を選びました。文学部であったため、専門職コースを選び公務員試験に必要な知識を基礎から積み上げていきました。オンラインで受講できるため、自分のペースに合わせて勉強を進めることができました。しかし、最初はなかなか定着せず、テストの結果も芳しくありませんでしたが、先生方や事務局の方に相談し、不安を解消することができました。また、面接でもサポートをしていただきました。面接カードから熱心に添削をしていただき、自分が表現できるようにしました。模擬面接も何度もしていただき、本番の面接でも緊張せずリラックスして受けられました。公務員試験を、最初から最後まで徹底的にサポートしていただいたことには感謝しかありません。学内講座を受けるか迷われている方は、まずは事務局に行ってお話を聞いてください。そうすれば、この講座の良さがわかります。

文学部 内定:製品評価技術基盤機構

学内開講であること、あとからでも講義の映像を視聴できることから受講を決めました。こうした点は勿論、疑問や不安なことをすぐに事務局の方々に相談できる点が非常に良かったと思います。特に面接対策では、何度も面接カードを添削していただいたり、面接練習をさせていただけたりしました。同期と合同で練習することによって、モチベーションを維持することに繋がりました。また、説明会などの情報をたくさんいただけたおかげで視野も広がり、現在の内定先を目指すきっかけにもなりました。右も左もわからない状態からスタートして無事内定をいただけたのは、こうした手厚いサポートがあったからこそだと思います。

文学部 内定:裁判所事務官

学内講座を選んでよかったと思う理由は、事務局の面倒見の良さと、他の講座生の存在です。面接カードの添削や面接練習で何度も事務局に通い、時には一日かけて指導していただきました。的確なアドバイスや豊富な試験情報をいただいたおかげで、不安を解消することができました。また、講座生みんなでお合格しようという雰囲気の中で取り組むことができたことも、とてもよかったです。コロナウイルスの影響で試験が延期になり精神的に苦しい時期が続きましたが、オンラインで情報交換をしたり、励まし合ったりして乗り越えることができました。面接練習を通じて知り合った仲間から本番直前に応援のメッセージをもらい、勇気づけられたこともありました。講座に関わる多くの方々に支えていただいたと感じています。

文学部 内定:裁判所事務官

学内で受講できること、親しい友人が受講生に多かったことをきっかけに受講しました。大学の授業が終わってから参加できるため、大学の勉強をしつつ公務員試験の勉強にもバランスよく取り組めたと思います。また、進路や勉強で躓いたときなどに、親しい友人に相談したり、事務局の方に話を聞いていただいたりすることで、モチベーションを維持し、自分の将来について深く考えることができました。勉強のサポートはもちろんですが、将来自分がどのように働きたいか、どのように生きたいかなど、面接練習やエントリーシート作成を通して考えることができる点が、この講座の魅力だと思います。

文学部 内定:財務専門官

よかったと思う点は、受講生同士の交流を持やすいことです。特に面接対策として、何度も模擬面接をしたり、面接カードを見てもらったりすることができたのは大きな利点だったと思います。事務局の方々や講座の先輩方の手厚いサポートもあり面接に対して全く自信のなかった私でも、無事に内定をいただくことができました。学内に事務局の方がいるので、いつでも相談できる環境が整っていることも大変助かりました。長い試験期間の中で一番重要であり、かつ難しいことでもある点はモチベーションを最後まで維持することだと思います。それができたのは、事務局の方々の指導や受講生同士の助け合いがあったからだと感じています。

文学部 内定:鳥根県

大学構内で座学と面接対策が行えると聞いて生協の公務員講座を受講しました。学内で講義があるなら大学の授業に出た流れで出席できると思ったからです。とはいえ、実際の受験・就活シーズンは迷走に迷走を重ね、一次面接の直前に大急ぎで面接対策を行うといった有様でした。しかし、事務局の方が相談カウンターだけでなくメールでも親身に指導してくださったうえ、それまで喋ったことも無いような受講生仲間の協力もあり、蓋を開けてみれば成績上位で合格できていました。理由はどうあれ、学内講座を選んで正解だったと思います。

文学部 内定:福井県

試験に向けて、事務局が学内にあるため阪大生に合ったサポートが受けやすく、また、受講生と協力しやすいことは大きな助けとなりました。1次試験対策では、先生方が幅広い職種に対応できるよう効率よく授業を進めてくださり、テキストも問題集だけでなく要点をまとめた小冊子が試験当日まで役立ちました。新型コロナウイルス流行下での2次試験対策も、オンラインを利用して、事務局の方や受講生と情報交換をしつつ面接練習ができたので、予想していたよりずっとスムーズに進められました。専門科目の勉強や面接カードの作成など大変なことばかりでしたが、公務員として働く上で全て必要なことだったと思います。短い間でしたが、学ぶことが多く充実した一年となりました。今までご指導ありがとうございました。

文学部 内定:吹田市役所

私が学内講座を選んだのは、大学の勉強や課外活動と両立しやすいと考えたためでした。4年間とても多忙な日々を送る部活動に所属していました。そのため、大学内でいつでも試験のことを相談でき、また、他の予備校にはない手厚いフォローアップをしてくださる学内講座は、非常に心強い支えでした。部活動が忙しく、授業を休んでもその回の授業の映像が翌日にはWebで閲覧できます。理解し易い部分は二倍速再生する等して、効率よく学習することができました。進路相談や面接練習に、回数制限がないことにも非常に助けられました。その時々課題を、的確に指摘しアドバイスを頂くことで、自分の成長が実感でき、大きなモチベーションになりました。同時に、受講生は全員同じ阪大生のため、志を共にし、面接対策などで助け合える仲間が、身近にたくさんできることも、この講座ならではの魅力だと実感しました。

文学部 内定:大阪大学

講座を受講して良かったことは、なにより相談できる場所が持てるということだと思います。勉強方法などの情報交換や面接対策を友人達とできたのはとても良かったです。また、私は遅くまで就職が決まらなかったのですが、そうした時に事務局の方に相談に乗っていただけなのは励みになりました。確かに周囲が内定をもらっている中で試験対策を続けるのは不安でしたが、かなり焦りもありました。ただ、講座で相談ができたおかげで諦めずに最後まで試験対策を続けられたと思います。

外国語学部 内定:財務省税関

大学の近くに住んでいたため、家から近いという理由で学内講座を受講することにしました。科目が多いこともあり、勉強が間に合うか不安でしたが、授業はとても分かりやすく、事務局スタッフの方がやるべきことを明確に示してくれていたの、いいペースで勉強を進めることができました。面接練習に関しては、事務局スタッフの方のサポートが本当に手厚く、とてもお世話になりました。勉強・進路・面接カードを書くエピソードなど、相談にのってもらいました。これほど一人一人を気にかけてくれる講座は、他にはないと思います。また、受講生同士の距離が近いこともこの講座の魅力の一つです。長かった公務員試験ですが、周りのみんなのおかげで最後まで頑張り続けることができました。

外国語学部 内定:経済産業省

通学の利便性を考慮して、学内講座を受講しました。漠然と公務員を目指していたので、コースが志望別に分かれていないことも魅力でした。特に、面接練習と面接カードの添削では事務局の方々に大変お世話になりました。面接練習を始めた頃は、緊張のあまり自分が何を話しているのかも分からないような状態でした。しかし、何度も模擬面接をしていた結果、本番では、「あまり緊張しない方ですか」と面接官に言われたるまでにになりました。また、他の講座と一緒に面接練習に取り組むことで、お互いに刺激を受けることもできました。納得のいく就職活動ができたと考えています。皆さんも悔いのない就職活動をしてください。

外国語学部 内定:国土交通省

学内で受講できるため移動時間の短縮になると考え、受講を決めました。些細なことでも何か不安があるときにすぐに事務局と相談できるという点は、非常に大きなメリットだと感じました。また、エントリーシートの添削や面接練習に関しては、事務局の方に何度頼んだかわからないくらい、面接対策もたくさん行っていただきました。同じ志を持つ受講生と悩みや不安を共有し、お互いを励ましあえたことも良かったです。この学内講座を選んで正解だったと強く思います。

外国語学部 内定:出入国在留管理庁

学内講座の最大の魅力は、事務局の方のサポートが厚いことだと思います。受講した当初は、法律も経済も専門ではない私が国家総合職を目指せるとは思ってもいませんでした。しかし、経験豊富な事務局の方からアドバイスをいただき、効率良く勉強を進めることで、学内講座だけで最終合格することができました。また、普段から事務局の方と話ができる事は、面接にも大きな助けとなりました。特にエントリーシートを書く際には、自分では気づかないような話の引き出しを見つけてくださり、自分だけのエントリーシートを書くのに大きな助けになりました。公務員試験はかなりの長丁場で、身体的にも精神的にも負担が大きいです。それを乗り越えるのに、学内講座は最大のサポートをしてくれると思います。

外国語学部 内定:衆議院事務局

ずっと関心のあった文科省を目指すため、講座の受講を決めました。目標だった文科省の内々定のみならず、当初は想像もしていなかった衆議院事務局からも内定をいただくことができました。公務員試験は筆記試験に集中してしまいがちですが、本当の勝負は面接だと思います。民間企業の面接が嫌で公務員試験に逃げた私が、面接を克服して合格を手にしたのは、事務局の方々の熱心なサポートのおかげです。実家から通う身としても、阪大内で受講できて非常に助かりました。

外国語学部 内定:裁判所事務官

学内講座であるため、通いやすく、大学の授業やサークルとの両立もしやすいと考え、受講を決めました。法律や経済等馴染みのない科目もありましたが、講義の映像を活用することで、自分のペースで勉強を進めやすかったです。また、面接対策についても、面接カードの添削や面接練習を何度もしていただくことができ、充実していました。初めは苦手意識が大きかったですが、受講生同士でも練習を繰り返すことで、本番でもあまり緊張せずに臨むことができました。長い試験期間を乗り越えられたのは、事務局の方々の他、他の受講生のサポートのおかげであり、この講座を選んで本当に良かったと思っています。

外国語学部 内定:名古屋税関

私は、3回生の9月~4回生の8月後半まで留学しており、公務員講座に入ったのも10月の中旬でした。実際に授業の動画を見始めたのは11月でした。もちろん、最初は何もわからず、授業を受けるペースなど事務局に相談しに行っていました。事務局の方は、焦る必要はないと言ってくださいますが、本当に焦らなくても大丈夫でした。ただ、こうしておけばよかったと思うことはいくつもあります。一つ目は、説明会に顔をだしておいたほうがよかったことです。事務局の方は、説明会に行くことを勧めますが、受験勉強を始める時期が遅かったため、進捗具合とかどうしても気になって、説明会に行く時間をもつたいないと思っていました。しかし、説明会に行くと仕事内容について聞いたり、顔を覚えてもらったりする方が、面接で話することも増えるしプラスになると思いました。二つ目は、勉強する教科の順番が大事だということです。特に、私のように遅い時期から勉強を始める方は、なおさらです。あまり復習がいらぬ科目もあるし、逆に、何回も解きななおさないと身につかない科目もあります。そういった情報も、先輩や事務局の方から教えてもらうことができるので、助かりました。

外国語学部 内定:裁判所事務官

私が講座を受講してよかったと思うことは、主に2つあります。1つ目は、面接指導が充実していることです。授業のない間に面接カードを作成し、事務局の方や同じ受講生に見てもらっていました。自分では気づかないことにも気づくことができ、実践的な面接練習を何度もくりかえして面接に慣れることができました。その成果が本番の面接でも十分に発揮でき、あまり緊張せず面接に臨むことができました。2つ目は、受講生は阪大生ばかりなので、授業に程よい緊張感があり、切磋琢磨して勉強したり、面接の練習をしたりすることができたことです。講座を受講して広がった交友関係は、将来仕事をすううえで役に立つことがあると思います。勉強方法は、決まったものではなく、自分のペースでできることも学内講座の強みです。私は体育会の部活動に所属していたため、講座に出ることができない日も多々ありました。しかし、講座には動画があったため、自分のペースで進めることができました。みなさんも、自分の進路についてよく考え、納得のいく決断ができるよう頑張ってください。

外国語学部 内定:広島県

大学の近くに住んでいたため、学内で試験対策ができることから学内講座を選びました。学内講座の魅力は、事務局と講座生の距離が近いことだと思います。法律や経済を学んだことがないため勉強が追い付くのか不安でしたが、事務局の方に気軽に相談することができ、おすすめの勉強法や参考書、過去の先輩の体験談などを丁寧に教えて頂きました。面接対策では、早い時期から面接カードの記入について指導していただいたり、何度もアドバイスをいただいたりすることができました。また、講座生同士で、面接カードの添削や模擬面接をしようなかで交流を深めることができるのも大きな魅力です。しんどい時期もありましたが、事務局の方々のサポートで事務局の方や講座生と話すことでストレス発散ができました。アットホームな環境で対策を進めていくことができたのが、この講座を選んでよかったと思える一番の理由です。

外国語学部 内定:富山県

学内講座を受講して良かったと思う点は、主に2点です。

①受講しやすい●リアルタイムで受講できなかったとしても、WEB配信で、自宅でも受講可能です。箕面キャンパスに通っていたため、これらの対応は助かりました。

②面接対策が手厚い●事務局の方が、自己PRの仕方や面接時の注意事項等、細かく丁寧に指導してくださいました。また、受講生が阪大生ばかりのため、面接カードを添削し合ったり、一緒に面接練習を行ったりしやすい雰囲気でした。同じ目標に向かって協力できる新たな友人もでき、学内講座を選択して本当に良かったと思います。

外国語学部 内定:奈良県庁

学内講座を受講して良かったと思う点は授業が受講しやすいことと面接対策が手厚いことです。授業は動画でも見られるので受講できなかったときや復習したいときにいつでも見ることができず。面接対策では面接カードの添削や面接練習を何度もしていただきました。また、他の受講生との模擬面接や情報交換を通じて刺激を受け、高いモチベーションを保つことができました。おかげで面接が本当に苦手だった私も本番では落ち着いて、にこやかに面接することができました。

外国語学部 内定:兵庫県

事務局に行けば、どんな相談にも乗ってくださるという安心感があり、それが支えになりました。自己PRカードの作成においては本当にお世話になりました。相当な時間をかけて自分一人で考えても、満足する文章を中々作り出せないと思います。助言をいただいて納得のいく文章を作り上げることができたことで、自己PRカードの完成度が面接への自信にも繋がりました。内定をいただいた後も何度も相談に乗っていただきました。最終的に考えて判断するのは自分ですが、全て自分で考えようと思ってしまうのではなく、困ったら聞くのも大切だと感じました。新たな学びが沢山ありました。大学内にあって気軽にいくことができる。家からでもオンラインで相談にのってもらえる。非常に充実したサポートに感謝するとともに、学内公務員講座を受講して良かったと心から思います！

外国語学部 内定:大阪府

私が学内講座を選んだのは、授業と両立しやすく、移動時間も少なくて済むと感じたからです。留学から帰ってきた時には既に講座が始まっていたのですが、その分の講座を動画で取り戻せたので助かりました。また、事務局の方から焦る必要はないと励ましていただいたことも大きかったです。他の受講生の頑張る姿を見て、自分も頑張ることができました。事務局の方々が時期に応じてアドバイスをくださいましたし、勉強の遅れや進路の悩みに対しても相談に乗ってくださったので不安を解消しやすい環境だったと思います。

外国語学部 内定:京都府

自宅から通いやすいということが、学内講座を選んだ1番の理由です。実際、大学の授業終了後にそのまま講義を受けたり相談があるときに気軽に事務局に足を運んだりすることができました。私は、箕面キャンパスで過ごすことが多かったため、大半は家でオンライン授業を受けながら試験勉強をしていました。配布物や提出物などに関しては、事務局で臨機応変に対応していただけたので、家でも十分な学習を行うことができたと思います。また、面接試験の時期にも、面接カードの添削や模擬面接で何度も事務局の方にお世話になりました。さらに、他の受講生と一緒に面接練習をする機会をいただくこともできました。日頃から親身になって対応していただける事務局の存在と、同じ環境のもとで切磋琢磨できる仲間が存在があったからこそ、長丁場の公務員試験を乗り切ることができたと感じています。

外国語学部 内定先:東京都

他の予備校のほうが、手厚くサポートしてくれるのではという不安を少し抱えながらも、家からの通いやすさを優先し、学内講座を選びました。しかし、受講してみると、勉強の進め方や受験先の選択の相談だけでなく、どんな些細な相談にも素早く応じてくれ、次第に不安は減っていききました。また、事務局の方との距離が近いので、日々いろいろな話をする中で自分の強みや弱みや、性格を理解していただき、苦手だった自己分析の助けとなりました。阪大生しかいない学内講座では、同じようなレベルの目標を持った講座生と日々励まし合い、切磋琢磨できたため、学内講座を選んで良かったと感じます。

外国語学部 内定:大阪府

学校で受講できるという所に惹かれて学内公務員講座を受講しました。しかしそれ以上に、事務局の方がとても協力的で、進路や勉強の進め方、ES添削、模擬面接…など、親身になって相談にのってくださいました。学内にあるので、困ったら事務局にすぐに相談できる点もよかったです。また、受講生が大阪大学の学生に限られているため、もともと知り合いだった人も多く、一緒に頑張る仲間が沢山できました。学内公務員講座で、事務局の方と、そして仲間たちと、一緒に就職活動ができて、本当に良かったと思います。色々な人のサポートがあったので、就職活動を前向きに考えることが出来ました！ありがとうございました。

人間科学部 内定:農林水産省

私は、大学1,2回生のとき、法律にも経済にも全く触れたことがありませんでした。そんな私が、筆記試験に合格し、内定をいただいたのは、各科目の先生方や事務局の方との距離が近く、質問しやすい環境が整っていたからだと思います。特に、事務局の方は、勉強法・進路の相談や、面接カードの添削など、本当に何度も、対応してくださいました。公務員事情はもちろん、阪大生のこと、受講生本人のことをよく知っている事務局の方だからこそ、一歩踏み込んだアドバイスをしていただけます。就活中、たとえ大阪以外にいても、最後の最後まで親身になって相談に乗ってくれるスタッフの方がいる。この安心感が、この講座の最大の魅力だと思います。

人間科学部 内定:国土交通省

学内講座を受けて良かったと思うことは多々あります。その中でも特に、「一緒に頑張っている仲間がいる」というのはとても心強く、モチベーションになりました。勉強に疲れても、教室や説明会で頑張っている仲間の姿を見て、自分を奮い立たせることができました。事務局の方や講師の先生方も個別に手厚く対応して下さい、自分一人ではないと思えたことが精神的に大きな支えでした。公務員試験は長く、辛くなることもあると思いますが、それを乗り越えさせてくれる環境が学内講座には揃っていると思います。

人間科学部 内定:裁判所事務官

学内開講で、大学の行事なども考慮したスケジュールになっており、大学の授業と両立しやすいと考え、この講座を受講しました。講座を受け始めるまでは、法律も経済学もまったく勉強したことがなかったのですが、講師の先生方が初学者にもわかりやすいように要点をおさえて教えてくださったおかげで、講義についていくことができました。また、出席できなかった授業は、後日パソコンで見ることができたので、絶対に授業に行かなくてはならないというプレッシャーを感じることなく、自分のペースで勉強を進められました。そして、この講座の最大の強みは、事務局の方々のサポートが手厚いという点だと思います。面接カード作成では、添削をしてもらったというより、一緒に悩みながら考えてもらったという方がしっくりくるぐらいに親身になってくださいました。面接対策も、本番を見据えた実践的なものだったので、実際の面接には自信をもって臨めました。また、それぞれの受験先でよく聞かれる質問や注意すべきことなどを教えてもらえたのも、とても心強かったです。私が公務員試験を最後まで乗り切ることができたのは、こうした事務局の方々の手厚いサポートが精神的な支えになっていたからではないかなと感じています。

人間科学部 内定:広島県

私が学内講座を選んだ理由は、大学の授業後でも通いやすいことやサークルとの両立が可能だと感じたからです。ゼミやサークルで忙しく、実際に授業を受け始めたのは3回生の10月頃からです。周囲と比較するとスタートは遅い方だったと思います。それでも内定を頂けたのは、事務局スタッフの方が手厚くサポートして下さい、自分のペースで勉強できたからだと思います。また、他の学生と交流できた点も非常に良かったです。互いに面接の練習をしたり情報交換をしたり、勉強だけでなく面接対策もしっかりできるところがこの講座の良い点だと感じました。みなさんも頑張ってください。

人間科学部 内定:富山県

事務局の方々が親身に相談に応じてくださり、受講や相談のしやすさから学内講座を選びました。忙しい時期や帰省中でも講義を視聴できたので、自分の予定に合わせて勉強を進めることができました。また、充実したテキストや過去問のおかげで自習も捗りました。面接対策では、納得いくまで何度も面接カードを添削していただいた他、面接練習を重ねることで苦手意識が薄れていきました。他の受講生と情報交換したり、事務局から過去の話や情報を聞いたり情報面でも手厚くサポートしてくれる環境です。苦しい時期でも事務局の方々の受講生と頻りに話すことで無事乗り切れたので、学内講座を選んで良かったと思っています。

人間科学部 内定:福島県

3年生の秋から受講を始めました。講義を後からインターネットで確認できることもありがたいですが、私は何と言っても面接対策でお世話になりました。面接対策では、事務局の方に何度も面接カードの添削をしていただき、表現を磨き上げることができました。面接は、初めて会う他人(社会人で年も離れている方)に短い時間で自分の経験や思いを伝えるという特殊な試験です。自分では、十分に伝わる話し方や書き方をしているつもりでも、相手には正しく伝わっていないということがよくあります。私は面接対策を通じて、自分がいかに伝えた「つもり」になっているかに気づくことができました。この気づきが得られたのは、事務局の方が粘り強く面接対策に付き合ってくれたおかげです。この経験は内定だけでなく、きっとその先にも繋がると感じています。公務員試験の道のりは長く、苦しいこともありますが、その過程の中に必ず成長の喜びもあります。この講座は、その道のりの伴走者として、きっとみなさんの気持ちに応えてくれます。

人間科学部 内定:京都市

受講して良かったと感じていることは、大きく分けて二つあります。一つ目は、勉強のペースが掴みやすかったことです。学内講座なので、受講生の学力レベルがまとまっているため、先生方は、無理にせかして詰め込ませたり、時間をとりすぎたりすることなく、ほどよいペースで授業を進めてくれました。また、苦手科目は授業に出席して勉強し、得意科目はわからないところだけ映像で確認するなど、柔軟に勉強法を変えられたのがとても良かったです。二つ目は、事務局の方と距離が近く、相談がしやすかったことです。面接の基本や対策から、勉強の進み具合、公務員試験の情報など、小さなことでも様々な相談に乗っていただき、不安の解消ができました。特に、学内講座であるため、事務局の方を通じて、自分と同じ学部の先輩の受験話を聞いたことが、とても参考になり、ありがたかったです。

人間科学部 内定:大阪大学

大学の授業終わりでも必ず講座に間に合い、かつ事務局が学内にありアクセスしやすいという理由から学内講座を選びました。長期にわたる試験対策でしたが、事務局の方が所要所でペース配分を提示してくださったので、研究を疎かにすることなく継続的に勉強することができました。また、時間さえ合えばいつでも相談に乗ってくださったので、不安をすぐに解消することができました。個人的に一番有り難かったのは、ESの添削と面接対策が非常に手厚かった点です。ESの添削については、事務局の方と何度もお話をする中でES作成のための材料を見つけ出すことができました。面接対策については、集団面接も個別面接も対策していただき、入室の仕方から話し方、話す際に気をつけることなど、受け答え以外の指導も充実していました。これらの手厚いサポートのおかげで、本番では自信をもって試験に臨むことができました。

国際公共政策研究科 内定:文部科学省

学内講座ということもあり、WEBでの受講や面接対策などの融通がきくので申し込みました。総合職専用ではないので、はじめのうちは、総合職だから特別な勉強が必要ではないのか、と不安に思っていました。しかし、講座やテキストの質は本当に高く、これをやりきれば総合職であろうと何であろうと大丈夫だと自信を持てるようになりました。また、公務員講座の面接対策は本当に手厚いです。型にはめられるのではなく、その人が持つ良さを引き出そうとする姿勢を感じました。加えて、頻度も他とは比べものになりません。官庁訪問という日本で最も厳しい面接試験を終えた今、公務員講座での面接対策で自分を発見できたことが、成功の秘訣であったと実感しております。

法学部 内定:内閣府

選んだきっかけは、学内で試験対策を行うことが出来る受講のしやすさでした。事務局に気軽に相談ができ、授業を休んだ時も映像配信を活用して復習がしっかりできるため、自分のペースで試験対策が進められました。加えて、面接対策が充実しています。個別面接対策から面接カード記入の添削まで、職員の方やOBの方、同期の受講生と共に対策を行い、効率的に面接能力を高めることが出来ました。更に、その際の情報交換を通じて、試験傾向・動向も把握できたことも意義深いものでした。融通が利く筆記試験対策と、充実した面接試験対策との二段階のバックアップの形を通し、合格に向けてより効果的に自分を向上させることが出来ると感じています。

法学部 内定:農林水産省

大学で授業が行われるため、通いやすいと考え公務員講座を受講することに決めました。忙しくて通えない時も授業がパソコンで見ることが出来るため、勉強の進捗があまり遅れることなく進めて行くことができました。また、対策を怠りかちな論文試験のテキストや授業も充実していたため、他の受験生と差をつけることができました。面接対策についても、事務局スタッフの方が一人ひとりに合わせた面接練習をしてくださるため、面接の受け答えに自信が持てました。加えて、公務員講座では、いつも事務局に他の受講生が集まって面接練習を行っているため、好きな時に好きなだけ面接対策ができました。十分な面接対策ができることだけでなく、一緒に頑張る仲間が得られたことも大きな糧となりました。

法学部 内定:農林水産省

「生協の公務員講座で、国家総合職受験対策ができるのか？」こんな疑問や不安を持っている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。1年前、私もそうでした。しかし、充実した講義内容や、親身になってくださる事務局の方、阪大の講座生との繋がりが、その不安を払拭してくれました。講義は、ベテランの先生方がわかりやすく教えてくださいます。私の受験区分である経済区分はあまり問題集がないのですが、解説付き過去問もくださったので、試験直前期には本当に助かりました。また、ネット受講もできるので、勉強スケジュールを自分で調整でき、サークルやゼミで忙しい私にとってはぴったりでした。事務局の方々も、本当に親身に、一人ひとりに合わせて時間をかけて相談ののってくださいます。勉強面だけでなく、志望省庁や面接カードの相談ものっていただきました。おかげさまで、官庁訪問本番は、自信を持って臨むことができました。講座生とは、勉強や面接で辛い時にもお互い励ましあえる存在になりました。さらに、講座主催で公務員に内定した先輩との交流もあったので、阪大生ならではの公務員試験のリアルな話も聞けるよい機会となりました。このように、質が高い授業かつ学生の立場にたって考えてくださる講座は、他にはないと思います。生協公務員講座は、国家総合職受験にも向きますよ。

法学部 内定:参議院事務局

学内開講であるため大学の授業や部活動と両立しやすい点、他の受験予備校と比べて受講料が安価な点からこの講座を受講しました。早い時期から筆記試験だけでなく面接試験の対策があり、インターンシップについても相談に乗っていただけました。効果的な自己PRが分らず苦手意識のあった面接カードの作成では、些細な会話の中から材料を見つけて繰り返し推敲していただけのため、自信をもって面接に臨むことができませんでした。勉強ばかりではなく、講座同期生や内定を得た先輩と交流する機会があったことも支えになりました。情報交換や励ましあいができたため、受験期間中でもそれほどビリビリすることなく落ち着いて試験対策できたと思います。

法学部 内定:参議院事務局

授業が学内で開講され、通いやすいだろうと考えて受講を決めました。実際、通学時間が省ける分、効率的に時間を使うことができたと思っています。この講座の一番の魅力は、手厚い面接対策だと思います。私は併願先が多く、面接の近い5、6月は、ほぼ毎日、面接カード(エントリーシートのようなもので、志望動機や自己アピールを書いて提出する用紙)の添削をしてもらい、講座事務局に通っていました。自分一人ではわからないことも、事務局の方にアドバイスをいただくことで、より分かりやすく、伝わりやすい面接カードに仕上げることができてと思っています。面接の受け答えも、何度も繰り返し練習したことで、安心して試験に臨むことができました。また、阪大生対象の講座で、阪大生のレベル、ペースに合わせた指導が受けられたことも、無理なく勉強、就職活動を続けられた大きな要因だったと思います。周りの受講生も一生懸命勉強しているので、自分もモチベーションを高く維持することができ、とてもよかったです。

法学部 内定:労働基準監督官

事務局が学内にあり、疑問や不安をすぐに解消することができると思ったため、学内講座を選びました。公務員試験は試験種によって科目や出題傾向が変わるので、自分の志望や知識に合わせて科目ごとの勉強量を調整する必要があります。情報が重要な公務員試験において、気軽に相談に行けるという点は大きなメリットだったと思います。また、面接対策では、それまでの相談や雑談で話したことを踏まえ、添削やアドバイスをしてもらえるので、自己分析を深めていく上で大きな助けとなりました。講座生同士で面接練習をしたり、情報交換をしたりと他の受験生と交流する機会が多かったことも、長い試験期間を乗り越えるための良い刺激になったと思います。

法学部 内定:福岡県

授業が学校内で行われるので、図書館で勉強してからそのまま授業に行くことができ、とても便利です。また、事務局の方が学内にいらっしゃる、少しでも不安なことがあればすぐに相談出来ます。進路や勉強の進み具合などを、個人個人の性格等を見ながら相談に乗っていただけました。他の予備校では予約制などで中々できない面接練習も早めの段階から任意でやっていけるので非常に助かります。公務員試験において実は非常にウェイトの高い面接についてこれほど親身にやってもらえる場所は少ないと思います。

法学部 内定:中国四国管区行政評価局

大学構内で受講でき、阪大生ばかりの環境で勉強ができたことがとてもよかったです。授業の内容もとても分かりやすく、休んでしまった授業も映像で確認出来るので、自分のペースで進めることができました。面接対策では、事務局の方に相談に乗ってもらったり、受講生同士で練習しあったりしていました。お互いのモチベーションを高めあったり、情報交換をしたりすることで、長い受験期を乗り越えることができたと思っています。勉強を始めた時から志望先が少しずつ変わっていきましたが、講座の友人との何気ない話やアドバイスのおかげで自分の納得できるものになりました。第一志望合格だけでなく、互いに切磋琢磨できる友人が多くできたことが本当に幸せだと感じています。

法学部 内定:奈良県

私は3回生のとき、漠然と公務員になりたいと講座を受講しました。当時はゼミ・部活動が特に忙しく、講座にはあまり出席できませんでしたが、ふと講座に出席すると、事務局の方が私のことを覚えて下さっていて声をかけてくれました。講座事務局で進路相談や面接対策等も引き受けて下さいました。また、学内に講座があることで、受講生同士が勉強・面接練習等をしやすい環境もありました。講座の魅力は、このような受講生と講座間・受講生間の距離の近さだと思います。

法学部 内定:兵庫教育大学

本講座では勉強だけでなく、事務局の面接対応や試験情報提供まで幅広くサポートしていただけるので、受講してよかったと感じています。不安なことがあれば気軽に相談でき、過去の先輩方の実例を踏まえたアドバイスが具体的にもらえるのでとても安心できました。また、面接カードの対策では何度も添削していただきました。相談に乗っていただく中で事務局の方が自分では気づかなかった長所・短所を新たに発見していただき自己分析がより進みました。このような経験は本講座だからできることであり、今後の人生においても価値のあるものだと感じます。

法学部 内定:神戸市

私が学内講座を受講したのは、ほかの予備校に比べて学費を抑えられるところと、大学のキャンパスで講義を受けることができることに惹かれたからです。しかし実際は、部活動やアルバイトが忙しく講義に出席できないことが多くありました。そういう時は動画で講義を見ることが出来るため、自分のペースで勉強を進めることが出来るほか、わからなかったところは該当する講義を何度も見て復習することが出来たので大変助かりました。ゼミや課外活動が忙しい3年生や民間での就職活動との両立等で忙しくなる4年生にとってこれは大きな魅力だと思います。また、面接対策や面接カード作成等2次試験以降の対策も時間や回数に制限なく指導していただけることもほかの予備校にはない魅力だと思います。講座生どうして模擬面接をしたり面接カードの添削をしたりしたことで一緒に頑張る仲間をつくることができました。民間で就職活動をしている友人らが内定をもらい焦りや不安を感じてる中で、自分と同じく公務員試験にむけて勉強する仲間がいたことはとても励みになりましたし、進路全般についてひろく相談に乗っていただけのアットホームな雰囲気のおかげで不安を一つ一つ解消しながら就職活動を進めることが出来たことが、学内講座に申し込んでよかったと思える一番の理由です。

経済学部 内定:財務省財務局

学内開講という受講のしやすさのほか、事務局が学内にあるためさまざまな相談もしやすいと思ひ、受講を決めました。実際、事務局では勉強のスケジュールやその他のいろいろな相談に随時乗っていただき、不安を解消しながら勉強することができました。また、面接対策では、事務局の方のサポートや練習機会が非常に充実していました。面接カードの添削から面接練習まで、事務局の方には多くのアドバイスをいただけたほか、他の受講生とも何度も面接練習ができる環境であったことは、とてもありがたかったです。面接練習等を通じてできた他の受講生とのつながりがあったからこそ、最後まで頑張れたのだと思っています。

経済学部 内定:文部科学省

大学近くに下宿していることもあり、通学に便利な学内講座を受講することにしました。また、授業に参加できなくてもパソコンから受講することができる点も大きな魅力でした。受講生も、地方公務員志望から国家公務員志望まで多種多様なひとと一緒に受けていたが、授業内でそれぞれの志望先に応じて必要なことを伝えてくださるので物足りないということはなかったように感じました。特に経済学の授業では、ジャンル別解説付きの20年分の過去問なども頼めば用意してもらえたので、経済区分過去問対策も十分できました。最後になりましたが、事務局の方の理解が非常に高いのが最大の魅力だと思います。阪大ならではの様々な情報に通じていたり、個々の志望に合わせた指導をしてくださったり、かなり密な指導をもらえました。面接対策なども多くのアドバイスをもらいながら、毎日のように付き合ってもらえるなどはほかの予備校にはない魅力だと思います。他大学の学内講座と比較しても、阪大の講座は国家総合職を志望する方でも十分合格圏内に入る指導をもらえる講座だと思いました。

経済学部 内定:参議院事務局

わざわざ予備校へ通う時間が無駄だと思ひ、学内講座を受講しました。この講座の一番の魅力は、面接対策が充実している点です。最近の公務員試験では、面接の比重が高くなっており、その対策が合否を大きく分けるといっても過言ではありません。他の予備校では、面接練習をしたくとも、予約をしなければならず、その回数も限定的だと聞いています。しかしながら、この講座では、自分が満足できるまで面接練習に付き合ってくれる事務局スタッフの方がおり、そのおかげで自信を持って本番に臨むことができました。また、受講生同士の交流も盛んで、互いに面接のアドバイスをしあったり、公務員試験に関しての情報交換をしたりと、非常に役立ちました。

経済学部 内定:大阪税関

私は3回生の12月から4回生の7月ぐらいまで民間企業向けの就職活動をしていました。しかしながら、志望も曖昧で何がしたいかも自分でもよく分からないままでした。結局、それが災いして内定は1つももらえませんでした。その時見つけたのが、大阪大学で開催されている公務員講座です。講座はほぼ全ての教科に対応しており、講師の先生方もベテランの方揃ひ。また、面接対策なども講座内だけでなく、受講生同士が集まって行うことができました。加えて、面接カードの書き方指導も充実しており、とても助かりました。学習期間と試験期間を合わせれば、1年以上かかりましたが、満足のいく結果になって良かったです。

工学研究科 内定:岐阜県

学内講座を選択してよかったと思う点は、質の高い講座を学内で受講できること、面接対策が充実していることです。授業については、移動に余計な時間を使わずに済んだことは大変助かりました。また、どうしても講座に出ることが難しいときでも、動画で隙間時間を活用して学習を進めることが出来ました。部活動やサークルで忙しい方にもこそ、学内講座をおすすめしたいです。そして、面接対策では、納得するまで何度も面接練習をしてくださる環境が整っているため、面接に抵抗があった私でも自信をもって本番に臨むことが出来ました。授業と面接対策の両方が充実している点が、この講座の魅力だと感じています。

理学部 内定:文部科学省

「専門じゃない」「勉強が間に合うのか」「なかなか授業に出られない」「面接大丈夫か」。これらが、私が公務員講座に通っていた時に感じていた不安です。正直に申し上げて、この不安は、内定を頂くまで消えることはありませんでした。私は、理系の学部生です。そのうえで、国家総合職を経済区分で受験したいと事務局の方に申し上げました。時期は、3年生の7月でした。事務局の方は「大丈夫」と背中を押してくださいましたが、不安が募るばかりでした。また、この時期まだサークル活動が忙しかった私は講座の授業にもなかなか行けず、授業のペースで勉強することもできませんでした。こんな私ですが、結果的には様々な試験で合格を頂いております。具体的には国家総合職試験・東京都庁・参議院事務局などです。また民間就活との併願もすることができました。不安に思っているのは自分だけではありません。大事なものはその不安をかかえながらも自分のペースで動き続けることです。公務員講座の強みは、一人ひとりのペースに合わせたアドバイスをその時々でしてくれることだと私は思います。不安に思いつつも少しでも公務員試験を受けてみたいと思うのであれば、ぜひ一度その不安を公務員講座事務局の方にぶつけてみてください。

理学部 内定:原子力規制庁

本講座に申し込んで良かったと何より思うのは、事務局の方が一対一での相談をとても気軽に受けてくださったことに対してです。知らない職種や試験について教えていただいたり、エントリーシートの書き方のアドバイスをいただいたり、過去問の成績から現状の分析をしていただいたりなど、対面でも電話でもメールでも幅広く対応していただきました。集団討論や個別面接についても意識すべきことをたくさん教わり、実際に練習も見ていただき、本番に大いに活かすことができました。公務員のことは学部の教授にはなかなか相談しづらいので、こうして親身に向き合っていただけるとはとてもありがたかったです。おかげで気負いが減り、非常に前向きに就職活動を進めることができました。

・技術職コース

工学研究科 内定:原子力規制庁

私がこの講座を受講したのは、1. 公務員試験がどういったものかイマイチイメージがわからなかったため、2. 面接対策をしたかったため、大きくはこの2つです。そこでまず事務局の方に話を伺いました。そして面接や基礎能力試験の数的処理などは慣れないと苦労するだろうと判断し受講しました。私は工学研究科の大学院生なので普段は吹田キャンパスにいます。また1回生の時は院の授業があったためなかなか豊中に向いて講座を受けることができませんでした。そこで、私は講義動画のWeb配信を利用しました。これなら豊中に行く手間も省けます。また、わかる範囲は早送り飛ばしてもかまわないと思います。私は、人前で話す時にすごく緊張するので面接練習は何度も参加しました。(正直参加したくはありませんでした、なぜかって？緊張するからです!!)面接はとにかく何度も練習して体で覚えることが重要だと思います。また、面接カードの書き方についても丁寧に指導して下さるので非常に助かりました。面接対策は回数こなして体で覚えることです。苦手なら尚の事です。事務局の方にお願ひして練習しましょう。他の受講生たちと一緒に面接官役をするのもいい練習になります(緊張しますが)。また、面接の前に面接カードを書く必要があります。これも事務局の方がみっちり指導してください。最終的に内定をもらうために必要なのはコミュニケーション能力です。自分の持っている知識を如何に相手に伝えるか、わかってもらうか。これが最も重要かつ絶対必要なものとなります。面接やグループディスカッションの練習は過剰なほど行いましょう。最後にものを言うのは練習量だと思います。

理学研究科 内定:厚生労働省

学内で開講され、かつ動画での講座配信も行われているので、研究活動との両立が図りやすいと考え受講しました。実際、研究が忙しい中でも効率的に勉強を進めることができたと感じています。また、勉強はもちろんのこと、些細なことでも事務局の方と話せる環境があったことは重要なポイントでした。特に、面接対策などでさまざまなアドバイスをいただく中、公務員になることの魅力を再発見でき、どのような公務員になって何をしたいのかというビジョンを明確にできたと思います。以上のことから、学習のペースメーカーという意味でも、自分の考えの基軸を構築するという意味でも、学内公務員講座の受講は最良の選択であったと考えています。

工学部 内定:大阪府(技術)

大学入学時から公務員に興味を持っており、公務員試験をしかり対策して臨みたいと思ったことから公務員講座を受講したいと思ひました。その中で生協の公務員講座を選んだのは、費用が安い事、親身になって指導してくれる事務局の方々があったからです。面接が大の苦手だった私に、事務局の方々には面接カードの書き方や模擬面接など、何度も丁寧に指導してくださいました。おかげで、本番の面接時にはほとんど緊張せず、面接官を笑わせることが出来るほど余裕ができました。また、私は工学部で吹田キャンパスに通っていたのですが、講義動画でも授業が受けられたことで、大学の研究と公務員試験勉強を両立して行うことが出来ました。この公務員講座を通じて、人前で自分をアピールする力や相手の考を予測して話す力など、人としてとても成長できたと感じています。

人間科学部 内定:家庭裁判所調査官補

他の予備校と比べて学費が安く、大学の授業との両立がしやすいと思い、受講を決めました。授業のペースは丁度良く、欠席した後でもビデオで授業を受けられることも魅力の一つでした。私は、心理系の職種を志望していたため、専門科目は独学で勉強していましたが、講座で教養科目をしっかり勉強していたため、専門科目の勉強に集中できました。勉強だけではなく、面接カードの添削や面接対策でもお世話になりました。コロナ禍で大学に行けなくても、メールやZoomで面接対策をしていただけたので有り難かったです。私が内定をいただけたのはこの講座のおかげです。この講座を受講して良かったと思います。

人間科学部 内定:法務省専門職員

家の近くで受講できる点から、学内講座を受講しました。私は10月から公務員試験を受けることを決めたため、決して勉強を始めるのが早かったとは言えませんが、授業の映像配信を利用して自分のペースで勉強を進めることが出来ました。また、自信のなかった面接カードの書き方や集団討論の練習といった人物試験の対策も繰り返し出てきました。そして、内定が出るのに時間がかかり迷っていた時に、事務局の方にたくさん相談に乗っていただいたのも、心の支えになりました。みなさんもぜひこの講座を受講して、内定に向けて頑張ってください。

人間科学部 内定:大阪府(行政)

私は、公務員と民間を併願したいと考えていたので、両立がしやすい教養科目のみのコースで申し込みました。私が良かったと思う点は主に二点あります。一点目は、自分のペースで受講できることです。決まった時間に出席して授業を受けるよりも、基本的に自分の好きな時間にオンラインで受講していました。また、再生速度の調整も出来るので、得意な科目は倍速で見て、苦手な科目は等倍で見るといった工夫もしていました。このように、自分なりにカスタマイズ出来るのがとても良かったと思います。二点目は、ESや面接の対策に親身になって協力してくれることです。私の中で、これが最も良かったことだと感じています。私は、民間も併願するつもりだったので、3月の就職活動解禁以降、大量のESを出すことになりました。事務局の方は、公務員試験に関係のない民間企業のESも一つ一つ丁寧にチェックしてくれました。この過程で、ES・面接カードの書き方を学んだり、自分の強みは何かといった自己分析を行ったりすることが出来ました。また、民間企業の面接の前には、それを想定した模擬面接もやってくれました。民間の就職活動でもこうした手厚い対策をしてくれたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。十分な対策のおかげで、民間でも2社内定を獲得でき、最終的に大阪府庁からも合格をいただきました。合格を勝ち取れたのは、間違いなく公務員講座のおかげだと思っています。

文学部 内定:滋賀県

学内講座の最大の特徴は、事務局の方や講座生との距離が近く、サポートが手厚いことだと思います。事務局の方は、勉強方法の悩みから面接練習まで、どんな些細なことでもとことん相談にのってくれました。特に、私は面接が苦手だったのですが、何度も何度も練習に付き合ってくださいました。それだけでなく、中々結果が出ず落ち込んでいた時には、優しい言葉で励ましてくださり、精神的にも支えてくださいました。また、講座生同士で面接や集団討論の練習をする機会も多く、講座内の同期で互いに刺激し合い、支え合って公務員試験乗り越えることができました。一人では合格できなかったと思います。学内講座を受講して本当によかったです。

文学部 内定:豊中市

学内の開講で、授業を欠席しても映像で内容を追えることからこの講座を選びました。公務員試験は非常に範囲が広く不安でしたが、要点や対策を分かりやすく教えてくださったため、しっかり勉強することが出来ました。また、面接対策の相談に乗って頂けることが一番の魅力だと思います。面接で話せるようなことはない、と自信を持っていませんでしたが、エントリーシートの内容から実際の面接練習まで、事務局の方や同期の方々が相談に乗ってくれたり、情報を頂けたりしたため、本番でもしっかり面接を受けることが出来ました。勉強面だけではなく、様々なサポートがあり、講座に申し込んで本当に良かったと思っています。

外国語学部 内定:大阪府

講座の一番のメリットは、勉強や就職活動のあらゆる不安を、学内の事務局ですぐに直接相談できることだと思います。私は民間と併願していたので、勉強のほか、面接やエントリーシート、グループワークなどに重点を置いていましたが、納得いくものができるまでとことん添削、練習してもらえました。公務員試験のみでなく、民間の就職活動についても相談できた点は大変助かりました。阪大生の受験生同士で知り合い、学生同士で情報交換や自主的に面接練習ができたことも良かったです。地方公務員と民間企業を併願したかった私にとっては、負担も重くなく、非常に助けになりました。

法学部 内定:参議院事務局

事務局には、勉強と面接対策の両方の面でお世話になりました。私は教養科目のみを8月から受講しましたが、専門科目の自習の進め方についてのアドバイスもいただくことができました。具体的には、私が法学部であることを生かし法律科目に重点を置くことや、大学で履修済みの科目は問題演習から先にやってみることなどです。面接対策に関しては、エントリーシートの添削や面接練習をしてもらえたことに加え、説明会や過去の人物試験の傾向など多くの情報をいただけたことが非常に助かりました。同じ志望先の仲間との面接練習の機会や、先輩方や事務局の方からの情報を得られる環境は、この講座の魅力だと感じています。以上のように、この講座の事務局は、担当の方にいつでも気軽に相談することができ、自分に一番合う方法を一緒に考えられる場だと思います。

法学部 内定:裁判所事務官

私は3回生の2月から講座でお世話になりました。第一志望である裁判所事務官の試験3ヶ月前という非常に遅いスタートでしたが、勉強方法や併願先の選択など、事務局の方から丁寧なアドバイスをいただき無事最終合格することができました。法学部ということもあり、専門科目は市販のテキストによる独学でしたが、数的処理のテキストを繰り返し解いていくことで、公務員試験の要である数的処理を確実な得点源にすることができました。また、受験生ひとりひとりにしっかりと向き合ってください事務局の方の手厚いご指導のおかげで不安だった面接もしっかりと準備することができ、落ち着いて臨むことが出来ました。

法学部 内定:裁判所事務官

学内公務員講座を選んだ理由は、自分のペースで学習出来ると感じたからです。あまり授業には出られませんが、オンラインビデオで効率よく自習を進めることが出来ました。専門科目の教科書選びや勉強の進捗具合などの悩みにも事務局の方が対応してくださり、感謝しています。いつでも、悩んだらすぐに解消できる環境があったこと、これが公務員試験に自分らしく挑めた理由だと思います。

法学部 内定:財務専門官

知り合いの先輩が何人が受講していたこともあり、受講しました。学内にあることで、サークルや授業終わりに受講したり、空き時間に相談に行ったりすることができたのが良かったと思います。また、二次試験中は実家に帰省していたのですが、メールや電話で対応してください、最後まで安心して面接に臨むことができました。勉強に関することよりも、受験情報、特に面接や官庁訪問の情報が大事だと感じたので、そのような情報が豊富で、気軽に相談に行くことができる学内講座を選んでよかったと思っています。

経済学部 内定:防衛省

事務局の手厚いご指導に何度も助けいただきました。学生一人一人に熱心に向き合っていただけ、これ以上ないほどの講座だと思います。面接カードを繰り返し添削くださり、官庁訪問で一番辛い時期にも親身に相談に乗っていただいたのが特に心強かったです。ネット上では公務員就活の情報が多く、不安でしたが、公務員講座では過去の先輩方のエピソードや職種ごとの特徴など貴重なお話も沢山伺えます。生きた情報に触れることで、将来何をしたいのか、自分の人生にじっくり向き合って進路選択できました。さらに講座内で他学部の友人との繋がりもでき、励まし合いながら就活を乗り切れたこともとても良い経験となりました。